



詩吟同好会

代表 国際 23 期 荒井 裕

古今の名詩は、私たちに感動を与えてくれます。詩吟は、声出し健康法です。大きな声でストレス解消！初めての方、声出し（発声法）から始め、第一歩から指導していただけます。私たちは、初心者・経験者および流派を問わず広く詩吟の習得に励んでいます。ご一緒に朗々とうたいあげる吟詠の醍醐味を味わいませんか。

詩吟といえば“鞭声肅肅”で始まる上杉謙信と武田信玄の一騎打ちで有名な詩があります。昔は「川中島」といわれていました。「鞭声肅肅夜河を過る曉に見る千兵の大芽を擁するを遺恨なり十年一剣を磨き流星光底長蛇を逸す」。



毎年4月新入会員とこの吟題からクラブが始まります。詩吟同好会の会員は少ないですが、OB 講師作成の吟符・吟譜をもとに、手厚い指導により一人一人による独吟と全員の合吟を基本に例会を持っています。毎月初めに講師の模範吟を録音して、インターネットを楽しんでいる会員には、メールに添付して配信しますので自宅でも練習できます。学園祭への出演はもちろん、歓送会に招かれてパフォーマンスも行います。OB 詩吟同好会もあり、OB との吟行会にも参加でき卒業後も詩吟が続けられます。

10月13日の今年度の学園祭にはNHK大河ドラマ「西郷どん」にちなんだ西郷隆盛自作の「獄中感あり」「偶感」の2題と明治の教育者西道僊作「城山」を取り上げ、それに向けて練習しています。ご期待ください。



第 23 回学園祭 OB 会員との合吟風景



K S C バドミントンクラブ

健康と親睦をシャトルに託して！

代表 音文 24 期 横山 謙一

バドミントンは、大変きついスポーツだと思われがちですが、違います。バドミントンは子供から大人まで同じルールで試合ができるスポーツです。コートやネットの高さも同じなので、老若男女問わずみんなで楽しむことができ「生涯スポーツ」として多くの愛好者に親しまれています。

練習はカレッジホール（9月末まで工事中）およびしあわせの村体育館で実施していますので、ぜひ見学に来てシャトルを実際に打ってみませんか。きっとバドミントンの魅力に取りつかれることと思います。現在3年生10名、2年生9名、1年生12名、計31名のメンバーで活動中です。行事予定として、5月新入部員歓迎会・10月OBと現役交流試合・12月忘年会・3月3年生歓送会等を計画し部員間の親睦を図っています。

汗と涙と笑いを！

食文 24 期 酒井 治美

今年は何と、新入生が12名も入部されました。私達の時は9名という少ない人数で役員もぎりぎり全員が役を引き受けましたが、大勢の新しい方々に入ってもらい大喜び。それにとっても上手で逆に教えてもらっています。先輩風なんてとんでもない、一緒に楽しく和気あいあいと汗を流しています。

今はカレッジホールが工事で使えないので、しあわせの村の体育館で汗を流しています。体育館では大先輩が丁寧に指導して下さり試合形式でやっています。汗を流すのは「半端なく」ダイエットにも最適です。皆様もバドミントンを楽しみながら汗を流しましょう！お待ちしております。



食文 23 期山本さんのスマッシュ(左)



亀田さん神保さんの1,2年生コンビ(下)



神出自然教育園支援

グループ

代表 園芸23期 松本 良昭

神出自然教育園は、神戸市教育委員会の施設として、自然体験を目的に、子供たちが人や物、自然との触れ合いにより感動を味わってもらうように運営されています。具体的には、約4万平方メートルの施設の中の池や水路での、ザリガニや亀たちとの触れ合いや、自然観察、田んぼや畑で、田植え、稲刈り、芋ほりなどの作業をします。また、豆を植え、取り入れ、豆腐を作るなど、さまざまな体験をします。この教育園を利用する子供たちは、年間3万人、300校を超える幼稚園や小学校などです。私たちは花や野菜の植え付け、草刈り、芋の取入れ、畝造りなどの農園作業や、子供たちが行う田植えや芋ほり、豆腐作りなどの補助をします。

現在、卒業生も含め、約400名のメンバーで、月に1回程度を基本に、その時期に必要なとされる支援を行っています。

支援内容は、学園での農園作業に比べ、規模が大きく内容も多岐にわたるため、園芸についてスキルアップしていると実感しています。さらに子供たちとは、作業補助も含め触れ合いが多く、楽しんでます。

支援グループは、園芸専攻が主ですが、豆腐作りで食文の方に、また、園芸以外の方も多数参加していただいています。

年に一度、グループ全員が集まる餅つき大会があり、この時は盛んに楽しんでます。



子供たちと田植え



苗の植替えと花の手入れ



手話ソング

笑顔いっぱい

代表 食文24期 片岡 和治

「手話ソングってどんなことをするの?」と聞かれることがあります。簡単に説明しますと、曲を聴きながら歌詞を手や指、顔の表情、また体全体で表現します。歌うことによって歌詞を覚え、楽しく手話を勉強しています。練習日は毎週火曜日、OBの指導の下、幅広い分野の曲を練習しています。手話ができないからダメではなく、いかに楽しみながら手話を勉強するかだと思います。どうぞ、練習を体験してみてください。

4月以降は、新入生歓迎交流会やジョイラックディに出演し慌ただしく時間が経過しました。特に、新入生歓迎交流会では、フォークソングクラブと共同出演し、新たなチャレンジを行いました。また、施設訪問では、アロハ・ハワイアンズの皆さんとの共同出演も新たな一歩でした。

最近、印象に残ったのは7月の保育所の訪問。手話ソングとしては初めての経験でしたが、0歳児から5歳児の約140名の子供たちと一緒に楽しい時間を過ごすことができました。



特に子供たちからの「アンコール」のメッセージには新たな感動を覚えました。

これからは、学園祭に向けて練習に励んでいきます。今回は、かなり難しいアップテンポな曲を選びましたがチャレンジして一歩前進したいと思います。手話ソングを演じながら、皆様に笑顔をお届けできれば幸いです。



保育所訪問の風景